

第49回

東京都学校歯科保健研究大会



川本 強 会長の挨拶



緞帳が上がれば華やかな開会式



東京都教育委員会
教育長代理・
前田 哲様



東京都学校保健会
会長
野中 博様



日本学校歯科医会
会長
清水恵太様



東京都歯科医師会
会長代理
山崎一男様



東京都歯科医師連盟
会長
高橋英登様



主催者席



来賓者席



司会者
勝田香子さんと鈴木 博 専務理事



開会のことば
由井 孝 副会長



閉会のことば
小嶋 憲 副会長

日時 平成27年2月12日(木)

14時

場所 文京シビックホール
大ホール

会を追うごとに充実する都学歯大会。
今年も天候に恵まれて盛会でした。



入口には存在感のタテ看板



学校歯科保健優良校表彰・
都立足立東高校長 高橋 仁氏



学校歯科医30年勤続表彰代表
山田 忍氏



学校歯科保健功労者表彰
菅生学園初等学校校長 小林なおみ氏



歯の作文講評
千代田区立小学校国語教育研究部長
(千代田区立番町小学校校長)
額賀 聡氏



優秀作文の朗読
「予防歯科」の実践を目指して
多摩市立東落合小6年 原口波奈さん(左)
「笑顔がコインに変わるまで」
渋谷区立原宿外苑中3年 屋敷 南さん(右)



入口を入ると色彩豊かな図画ポスター優秀作品の展示



図画ポスター・コンクール入選者表彰



図画ポスター講評
東京学芸大学理事・副学長
(美術科教育学教授) 増田金吾氏



客席を埋めた来場者



研究発表

平成25・26年度 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業
 「高等部就業技術科における歯と口の健康づくり推進事業 歯と口の健康を通じた QOL の向上を目指して
 ～SGD (Small Group Discussion) の取り組み～」
 都立志村学園 校長 堀内省剛氏／主任養護教諭 赤池杏奈氏／学校歯科医 向井美恵氏



特別講演「Your Only Limit is You」

(公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 スポーツディレクター 室伏広治氏



音楽演奏 合唱 国立音楽大学創立90周年記念合唱団
 テノール 鹿内芳仁：ピアノ 石島美奈子：指揮 小向宏明 のみなさん

実行委員のご協力で
 準備万端
 スムーズな大会運営



各部担当委員の打ち合わせ



過不足のないように袋詰めは大変な作業

見事に詰め終わった記念品袋群



来賓受付



受付の賑わい



来場者をご案内



2階では多数の研究発表の展示



賞状受け渡しは、校名を間違わぬよう気を遣う



大会も無事終了
和やかに懇親会



乾杯の発声は難波昭一 監事



乾杯の会場



思い思いに パーティのひとつ



晴れた日の夜景は美しい



ホッとした雰囲気懇親会場



平成27年度

「東京都学校歯科保健優良校（園）表彰の応募」と 「歯の作文募集」に関するご協力をお願い

東京都学校歯科医会では事業の一環として、毎年、国公私立保育所（園）・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象とした「学校歯科保健優良校（園）」を募集しております。また、小学校・中学校を対象とした「歯の作文」の募集もしております。

学校歯科保健優良校（園）表彰は、毎年春に行われる定期健康診断の結果や学校（園）歯科保健の活動状況を調査票に記入し、東京都学校歯科医会に送っていただきます。送られた調査票を東京都学校歯科医会の審査委員会において、学校（園）歯科保健活動が各学校（園）でどのように取り組まれ、幼児、児童、生徒の歯・口の健康づくりがどのように実践されているかを審査いたします。審査につきましては、う蝕処置率よりも学校（園）歯科保健の活動状況の評価に重点を置くようにしております。また、各学校（園）の学校歯科医の活動内容も評価の対象になる部分があります。

毎年多数の学校（園）に応募していただきおり、平成26年度は717校（園）の応募をいただきました。優良校（園）は東京都学校歯科保健研究大会で表彰させていただいております。

なお、日本学校歯科医会では幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に全日本学校歯科保健優良校表彰を行っております。東京都学校歯科医会では、応募校（園）の中から特に優れた6校（園）を選出し、日本学校歯科医会へ推薦いたします。

この事業の趣旨をご理解いただき、多くの学校（園）が応募されますよう各学校歯科医の先生方のご協力を切にお願い申し上げます。

また、「歯の作文」の応募につきましては、学校歯科保健優良校（園）表彰の趣旨と同じく子どもたちの歯・口の健康づくり育成事業の一環としておこなっております。対象学年は小学校では5年、6年、中学校では全学年となっております。

過去の作文の応募作品数は以下のようにしております。

	小学校	中学校	合計
平成22年度	448	100	548
平成23年度	484	149	633
平成24年度	409	196	605
平成25年度	404	226	630
平成26年度	418	234	652

応募作品は東京都学校歯科医会の審査委員会によって一次審査され、専門家の二次審査へとまわされます。これらの審査を経て選別された優秀作品の中から、小学校部門より1作品、中学校部門より1作品に絞られ、最優秀作品となります。そして、最優秀作品は毎年2月に開催されます東京都学校歯科保健研究大会の席上において、ご本人に朗読していただきます。また、優秀作品は本会ホームページにも掲載させていただきます。

この事業も子どもたちの歯・口の健康づくりに対する意識を高める手段といたしましては、これに優るものはありません。

事業内容を充分にご理解いただき、各学校歯科医の先生方におかれましては、担当されている学校（園）を訪問する際に、ご協力いただけるよう校長（園長）先生、養護教諭等に是非お願いしていただけるよう希望いたします。

「学校歯科保健優良校（園）表彰」応募について

● 応募締切

6月末日までに東京都学校歯科医会へご提出ください。

『歯の作文』募集について

● 対象学年

小学校5年、6年、中学校全学年

● 募集締切

地区教育委員会は、地区学校歯科医会に7月中旬までにお届けください。地区学校歯科医会は、7月末日までに東京都学校歯科医会へご提出ください。

島しょ地区学校歯科保健支援事業 (大島・八丈島) 報告書



学術担当理事 澤田 章司

東京都の児童生徒に平等な学校歯科保健活動を推進するために、今まで地理的な問題等で活動できなかった島しょ地区を支援し、『子供たちが自分の健康は自分でつくり生涯を通して“生きる力”を育む』ことを目的とし、島しょ支援事業を牧野理事が立ち上げた。昨年度から島しょ地区の教育委員会を通じ各学校にアンケートを行った結果、要望のあった大島町と八丈町を訪問することになった。参加メンバーは学術理事の牧野・東川・澤田の3名で、それぞれが分担して歯科保健指導を行うことにした。

大島は12月4～5日の日程で行い、『遠路、島しょ地区まで保健指導によく来て頂いた!』と熱烈歓迎ぶりであった。町長と教育長への表敬訪問も和やかな雰囲気の中で行われ、島内の歯科保健の実状を伺った。大島では数十年来、検診だけを島内の開業医に依頼し行っていたが、学校歯科保健指導はしてこなかったとのことである。今回の養護教諭からの要望もそれを受け学校歯科保健活動についてお話しをして貰いたいとのことであった。島内の小・中6校の養護教諭・校長、教育委員会等関係機関の方々が参加された中で、学校歯科保健全般について講演会を行ったが、その反響は非常に大きく好意的に受け止められた。

続いて八丈島へは1月15日に予定し羽田を離陸した。強風のため八丈島上空で旋回し着陸の機会を窺いながら風の弱まるのを見計らってやっと着陸態勢に入り滑走路に向かった。しかし何と着陸寸前で突如エンジン全開で『ゴーン』という音を響かせながら急上昇してそのまま『さようなら』と言わんばかりに羽田に引き返すという事態になってしまった。改めて島しょ地区への支援の難

しさを痛感した。飛行代金が全額返金されたことだけが幸いであった。

再トライは1月28～29日であった。行きの便には、実は八丈町長も出張帰りで同乗していたので機内でご挨拶した。改めて町役場に町長と教育長を表敬訪問し和やかな中で会話が進み島内事情を伺った。その後、丸一日かけて小・中・高5校の学校訪問をし、校長や養護教諭から保健活動の実態を伺った結果、八丈町では学校歯科医によるブラッシング指導は行われているものの学校保健委員会が設置されていない等の問題点が判明した。

翌日は、大賀郷中学校の養護教諭からの依頼で1年生へのブラッシング指導を行った。その際、島内の小・中・高の全養護教諭7名、学校歯科医1名と歯科衛生士1名も見学にお越し頂いた。その後、養護・学校歯科医向けに学校歯科保健全般についての講話と都学歯発行の冊子についての説明を行ったが、皆さん真剣な眼差しで聞いていた。

今回、両島への訪問の成果は、様々な情報が得られたことで今後の支援の在り方への道筋が見えたことである。また教育委員会や養護教諭からは保健活動の充実のために今後も都学歯へ協力を要請したいとのこと、良好な信頼関係が構築できたことも成果であった。

反面、課題としては、それぞれの島での歯科医が本来の学校歯科保健活動を理解し取り組めるまで、都学歯としても継続的に地道な支援をしていく必要があるということである。

近い将来、きっと島しょ地区の子供たちにも内地同様の学校歯科保健活動を享受できる日が来るものと信じて已まない。“継続は力なり!”

地区学校歯科医会からのメッセージ

千代田区神田学校歯科医会

会長 船曳光雄

千代田区は正に日本の中心であり、また我が国の歯科医学、医療、教育の黎明期から現在に至るまで歴史の地でもあります。血脇守之助、中原市五郎、榎本積一、奥村鶴吉、山本茂三郎等の指導者達がこの地に在住し、歯科教育機関を設立しました。記録によりますと、大正12年関東大震災後、神田地区の小学校に衛生室、今の保健室ができ、その後「児童生徒の身体測定規定」に歯科健康診断がとりあげられ、昭和6年に学校歯科医会が制定されました。

戦後、東京市より東京都に改正、区も23区にて旧神田区も麹町、丸の内と合併し千代田区となり、歯科医師会も千代田区歯科医師会となりました。神田地区は小学校9校、中学校3校で歯科医師会会員の中から学校歯科医を選出し、その組織を徐々に確立していく時期でありました。時は経ち昭和58年、千代田区歯科医師会と分離して千代田区神田学校歯科医会は、住人の減少による学校の統廃合で小学校4、中学校1、幼稚園4「こども園1含」9人体制で活動し、現在に至ります。

我々の活動状況につきましては、各校により多少の違いはありますが、年に3回の歯科健康診断、就学時検診、学校の保健委員会、その他学校行事への参加であります。特に各学校の保健委員会では、教師、保護者を対象に口腔衛生の大切さについての講演並びに質疑により、家庭での指導に役立つように、その時節に合った事柄を詳しく解説しております。

また、私共の長年の取り組みですが、千代田区教育委員会、千代田区歯科医師会と協力して歯の衛生週間の事業として、「よい歯の表彰式」があります。文字どおり、全校児童朝会の折、講話をし、教育委員会、歯科医師会役員の出席のもと、連名で表彰状を子供に手渡すのですが、特に小学校4年生に対し1時限をお借りして日本大学歯学部附属衛生専門学校の学生達に染め出し、ガムによる咀嚼力測定などを行っていただきます。これは、この衛生専門学校のカリキュラムのひとつに

もなっており、校長先生、インストラクターもお立合いいただいております。子供達は実験が大好きですので、目を輝かせて、学生達の話聞き質問したりとても有意義な事業であることを自負しております。

各地区の学校歯科医会に於かれましても、学校歯科医の選出等について色々とお骨折りのことと存じますが、当会の現状について紹介致します。私が、20年程前に職務に就きました時は、有無を言わず先輩の先生に「おまえやれ！」の一言で決まってしまったものでした。他地区でもそのような状況であったかと思えます。

お恥ずかしい話ですが、これといった取り決めもなく延々と各自、活動をしてきたわけです。

平成23年に会長職をご指名いただきました折、否、遙か以前からこのままではいけないとの思いから、会則と施行規則を取り決め明文化し、歯科医師会の先生方にも公開し納得して頂きました。特に65歳を定年としたこと（少ない学校数で若い先生にも機会がある）、必ず日学歯、都学歯の会員になっていただく（地区だけでは、研修の限界がある）。任期制の意見もありましたが、子供達が顔も覚えないうちに代わるのは如何なものかの理由で却下されました。

それぞれの地区の特性で、考え方は色々あるかと存じますが、子供達の健康や幸せのための職務ですので、私共の権利など考えずに日々、活動しております。少会員数ではありますが、神田学校歯科医会をこれからもどうぞ宜しくお願い致します。



西東京市歯科医師会

学校歯科医担当理事 田中大平

西東京市は平成13年（西暦2001年）に田無市と保谷市が合併により誕生した21世紀最初の新設合併の市で、人口は20万人弱の市です。西東京市は23区特別区の西に隣接しており、北は西武池袋線、南は西武新宿線が、蒲焼きの2本の串のように西東京市を貫通しております。

西東京市歯科医師会は、行政の合併の後を追うようにして平成16年4月に旧保谷歯科医師会と旧田無市歯科医師会が合併により誕生しました。昨年は公益社団法人を取得したため、市民の歯科健診・学校歯科検診等の重要性が増し、地域の医療向上のため、会長はじめ、会員一同努力している次第であります。旧田無歯科医師会の定款をもとに、各学校（公設保育園含む）の歯科医の任期6年という形式で輪番制にすることが、合併発足当初の理事会で、決定されました。以降、西東京市学校歯科医会は西東京市歯科医師会の一部として運営されております。会員数100名を越える歯科医師会で50弱の学校歯科医（公設保育園含む）を6年任期で廻しているということになります。こういう形式の輪番制に対して、違和感を持たれる都学歯の先生も多々いらっしゃると思います。しかし、多くの会員の先生方に学校歯科医という経験を積んでもらう、非会員との差別化、という2点が本会における主旨であるため、輪番制で運営されてます。



全国的には少子化の状況の中、西東京市では、工場の移転後跡地等への宅地開発等により、特定の地域においては児童数の急激な増加が見られる一方で、児童数の減少により単学級編制の学年が生じている学校が出現するなど、地域により児童の偏在が著しい状況となっております。西東京市には市立小学校が19校、市立中学校が9校、都立高校が4校ありますが、今年の3月で閉校になる小学校が1校決定されました。

僭越ではありますが、個人的に学校歯科医を携わっての感想について書きたいと思います。父が昭和45年4月1日から平成15年3月31日まで学校歯科医としてやってきた旧保谷地区の某小学校を、私が合併の平成16年4月1日から引き継ぎ、6年間やらせていただく形になりました。振り返ってみると、歯科健診以外にも6月には歯の全校集会、4年生、6年生の染め出しによる歯ブラシ指導等、小学校に出向くことが多く大変でした。特に、歯の全校集会では5、6年生の保健委員と一緒に簡単な歯にまつわる演劇をやらなくてはいけないため、そのストーリーを作るのが一苦労でした。現在は、再び高校の学校歯科医をやっておりますが、都学歯の情報をどのように反映すべきか模索しているところです。

西東京市では毎年2月の中旬に教育委員会後援のもと学校歯科医と養護教諭の研修会を開催しております。今までは大学関係の先生に講演をお願いしておりました。しかし、今年は都学歯の理事の先生にお願いしました。これを機に、西東京市歯科医師会で都学歯の存在がもっと身近なものとなればと思って筆をおきたいと思います。



「特別支援学級の口腔保健指導の実際」

公益社団法人東京都歯科衛生士会 尾崎佐栄子

前回本誌第111号で杉並区学校口腔保健指導の紹介を致しましたが、今回は特別支援学級（以下特支学級とします）の指導に焦点を当てて実際の指導の様子をお知らせいたします。

学校教育法が2006年に改善され、特支学級には従来の心身障害教育の対象となる障害だけでなく、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等を含めて、特別な支援を必要とする児童生徒（以下子とします）の自立や社会参加に向けて、その1人1人の障害の状況や特性に応じた教育や指導を行うこととなりました。当初私たちの指導では、対象学年の子が普通学級のクラスの後ろに机を用意して参加しておりました。特支学級の子は、いつもと違う教室なので緊張し、内容も普通学級の子を基準に進行しておりましたので、ただ後ろに座っていた状態で指導を受けていたと思います。その後ある小学校の養護教諭の要望で、特支学級の教室に向いて指導を実施してみました。しかし理解度の異なる子どもたちに、たった歯科衛生士2名と学校歯科医1名では十分に診ることが出来ず、マンパワーの必要性を痛感致しました。幸いにも杉並区学校歯科医会の先生方は、この事に即理解を示して下さい、今では特支学級には倍の歯科衛生士が入れるように体制を整えて下さいました。

具体的にどのような点に注意して指導をしているのか、紹介したいと思います。まず授業の最初に、どんなことをやるのか不安に思わないように、写真にあるような媒体で大まかな流れの説明をしています。その後綿棒で染め出しをするのですが、嫌がる子には「楽しいよ」と説得しながらも強制的にはならないように配慮し、どうしても駄目な場合は染め出しをしない子もいます。出来そうな子には自ら塗ってみるよう促します。その後どこにみがき残しがあったのかを教材のプリントに、赤鉛筆で色塗りを行います。この作業は普通学級ではスムーズに塗れる子がほとんどですが、特支学級では鏡を見て塗るのが難しく、お手伝いが必要な子には声を掛けながら一緒に塗ってあげたりします。そしてどのようにみがけば歯がきれいになるかを、クラスの先生方にも伝えながら、1人ずつ手を添えたり、褒めたりしながらみ

がき終えます。先生は普通学級では担任が1名ですが特支学級は複数おり、普段から一緒に生活しているので1人1人を良く把握しており、それぞれの子の注意点や指導内容を伝えることはとても重要と考えています。歯みがきがひと通り終わったら、自分で鏡を見て白い歯になった事を確認してもらい、さらに舌で舐めたり指で触ったりしてつるつるになったことを実感してもらいます。頭で理解すると言うより身体で覚える、実際で感覚で理解することが特支学級では大事だと思います。授業の最後に皆の前で「ぴかぴかの歯になって、とても気持ちが良いです」とにこやかに発表してくれる子がおり、純粋で素直な子たちに暖かい気持ちにさせてもらっています。

現在、小・中学校4校ずつ実施しておりますが、今後他の学校でも希望に応じてさらに増えていくと思います。今後の指導のあり方として、歯科保健が日常の生活習慣として定着するように毎年、1人1人の状態にあわせて支援を続ける指導が必要なのだと思います。そして学校だけでなく家庭においても実践できるように、保護者参観して頂くのもいいと思います。これからも学校歯科医の先生方と連携を図りながら、適切な教育や生活の習慣化となる指導をチーム一同心掛けたいと思います。



トピックス////

平成26年度 学校保健（学校歯科医）研修会

平成26年12月11日（木）10時より歯科医師会館において学校保健（学校歯科医）研修会が行われた。演題①「学校歯科医の職務について」を東京都教育庁地域教育支援部歯科保健担当課長 三ツ木 浩氏が、演題②「児童・生徒のカスタムメイドマウスガード 応用の利点とその必要性」は東京歯科大学スポーツ歯学研究室准教授 武田友孝氏が講演された。演題②ではスポーツ基本法からスポーツ・歯科に関連する外傷、マウスガードについて、マウスガードの問題点、マウス



ガードの歯科的・脳震盪予防効果、正しいカスタムメイドタイプマウスガード（材質，設計，かみ合わせなど）の必要性について述べられた。

トピックス////

平成26年度 学校歯科医基礎研修会

平成26年12月11日（木）13時より歯科医師会館にて学校歯科医基礎研修会が行われた。学校歯科医として基本的な職務の理解と認識を深める講演がなされた。

- ① 「学校歯科保健の概念」
東京都学校歯科医会 東川輝子理事
- ② 「学校歯科保健における保健教育」
東京都学校歯科医会 長井博昭理事
- ③ 「学校歯科保健における保健管理」
東京都学校歯科医会 牧野 寛理事



- ④ 「学校歯科保健における組織活動」
東京都学校歯科医会 澤田章司理事

トピックス////

第4回臨時代議員会

平成27年3月19日（木）15時より、臨時代議員会が歯科医師会館1F大会議室で行われた。

議長に練馬の望月兵衛代議員、副議長には麻布赤坂の藤野埜男代議員がなり、由井副会長が開会を宣言した。川本会長が第80回全国学校歯科保健研究大会の日程について述べた。次に来賓として、大路正浩文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課長が第80回全国大会の日程が変更されたことについて挨拶をなされた。次に清水恵太日本学校歯科医会会長、高橋哲夫東京都歯科医師会会長、また高橋英登東京都歯科医師連盟会長が挨拶をされた。議事録署名人に江東の河口博和代議員、西多摩の小澤庄二代議員が選出された。

次に渡邊理事より会務報告及び定款施行規則の一部改正について報告があった。次に長沼理事より日学歯報告と会計現況報告がなされた。ここで会長挨拶から会計現況報告まで承認された。

議事にはいり、

- 第1号議案 基本財産の処分及び特定資産への積立
- 第2号議案 平成27年度事業計画
- 第3号議案 平成27年度収支予算



- 第4号議案 次期会長候補者の選挙
- 第5号議案 名誉会員の推薦

第1号議案は全員一致で可決決定された。第2号議案、3号議案は一括上程され、予算決算特別委員会報告を松浦康文委員長が行った。質疑にはいり、品川の丸山進一郎代議員、杉並の小川 学代議員、目黒の堀内 哲代議員が質問をされたのち可決決定された。第4号議案では寺田 誠選挙管理会委員長が次期会長候補に川本 強氏が立候補し承認されたと述べ、可決決定された。第5号議案では練馬の西連寺愛憲氏が推薦され、可決決定された。

協議にはいり、板橋の早川 龍代議員、港区芝の華岡眞幸代議員、練馬の河奈文彦代議員の質問をへて、小嶋副会長が閉会を宣言した。

会 務 報 告

6/19 (木)	第4回全国大会実行準備委員会	会館	11/20 (木)	第8回事業部会	会館
6/24 (火)	日本学校歯科医学会総会	会館		日学歯基礎研修会予演会	会館
6/26 (木)	城北ブロック地区学校歯科医連絡協議会		11/25 (火)	第3回学術研究委員会	会館
		北歯科医師会館	11/27 (木)	第1回選挙管理委員会	会館
7/5 (土)	多摩ブロック②地区学校歯科医連絡協議会			第1回総務委員会	会館
		多摩永山情報教育センター 美膳	11/29 (土)	第4回学術部会 (鳥しよ地区打合せ)	新宿
7/10 (木)	第4回理事会	会館	12/4~5	鳥しよ地区学校歯科保健活動サポート	大島町
	優良校表彰審査会	会館	12/4 (木)	東京都養護教諭研究会役員連絡会	会館
	第4回会誌・広報委員会	会館	12/11 (木)	学校保健 (学校歯科医) 研修会	会館
	城東ブロック地区学校歯科医連絡協議会			学校歯科医基礎研修会	会館
		錦糸町東武レバント	12/18 (木)	第8回理事会	会館
7/17 (木)	荒川区区長表敬訪問	荒川区役所		東京都教育委員会連絡協議会	うかい
	多摩ブロック③地区学校歯科医連絡協議会		1/3~17	図画ポスターコンクール受賞作品展示	
		西多摩歯科医師会館		新宿駅西口 プロムナードギャラリー展示会場	
	第5回全国大会実行準備委員会	会館	1/8 (木)	都学歯大会大ホール下見 文京シビック大ホール	
7/24 (木)	足立区区長表敬訪問	足立区役所	1/10 (土)	賀詞交歓会 (東京都学校薬剤師会)	
	都立高等学校保健研究会役員連絡会	会館		グランバシフィック	
	第4回事業部会	会館	1/13 (火)	新春懇談会 (東京都歯科医師会)	
	第1回東京都学校歯科保健推進校 (園)			ホテルグランドパレス	
	支援事業選定校小連絡会	会館	1/15 (木)	ライブラリー打合せ	会館
7/31 (木)	健康づくりフォーラム	都庁		都学歯大会大ホール打合せ 文京シビック大ホール	
8/21 (木)	第65回関東甲信越静学校保健大会・歯科職域部会		1/22 (木)	第9回事業部会	会館
		千葉県幕張メッセ		第9回理事会	会館
8/27 (水)	第6回全国大会実行準備委員会	会館		第2回参事会	アルカディア市ヶ谷
8/28 (木)	打合せ (小児糖尿病の児童生徒について)	会館		第4回学術研究委員会	会館
8/29 (金)	中央ブロック地区学校歯科医連絡協議会		1/28 (水)	新春賀詞講演会 (東京都歯科医師連盟)	
		大地の恵み北海道		歯科医師会館	
9/4 (木)	ライブラリー打合せ	会館	1/29 (木)	鳥しよ地区学校歯科保健活動サポート	八丈島
	第5回事業部会	会館		ライブラリー打合せ	会館
9/11 (木)	ライブラリー打合せ	会館	2/7 (土)	新春のつどい (東京都歯科衛生士会)	
9/18 (木)	第5回理事会	会館		アルカディア市ヶ谷	
	歯の作文審査会	会館	2/12 (木)	第49回東京都学校歯科保健研究大会	
	第5回会誌広報委員会	会館		文京シビック大ホール	
	城南ブロック学校歯科医研修会 (玉川)		2/19 (木)	第2回予算決算特別委員会	会館
		玉川歯科医師会		第8回会誌広報委員会	会館
9/20 (土)	品川歯科医師会90周年記念式典		2/26 (木)	第10回理事会	会館
		グランドプリンスホテル高輪		日学歯代表会員打合せ	会館
9/25 (木)	第6回臨時事業部会	会館	3/5 (木)	第10回事業部会	会館
	図画・ポスターコンクール審査会	会館		東京都歯科医師会臨時代議員会	会館
	第2回学術研究委員会	会館	3/9 (月)	次期会長候補者選挙候補者届出締切	
9/27 (土)	目黒区歯科医師会80周年記念式典	目黒雅叙園		選挙管理委員会 正・副委員長打合せ	会館
10/2 (木)	作文2次審査依頼	千代田区立番町小学校	3/12 (木)	第11回理事会	会館
	第1回東京都学校歯科保健功労者表彰選考委員会			第9回会誌広報委員会	会館
		会館		第1回学術全体委員会	アルカディア市ヶ谷
	第7回事業部会	会館		城西ブロック地区学校歯科医連絡協議会	
10/9 (木)	第2回東京都学校歯科保健功労者表彰選考委員会			新宿ワシントンホテル	
		会館	3/19 (木)	第2回選挙管理委員会	会館
	第6回理事会	会館		第4回臨時代議員会	会館
	第6回会誌広報委員会	会館			
	城北ブロック学校歯科医研修会 (滝野川)				
		滝野川歯科医師会			
10/23~24	第78回全国学校歯科保健研究大会	鳥根県			
11/6~7	第64回全国学校保健研究大会・全国歯科医協議会				
		石川県			
11/8 (土)	多摩ブロック①地区学校歯科医連絡協議会	小千谷			
11/13 (木)	第7回理事会	会館			
	第7回会誌広報委員会	会館			
	多摩ブロック学校歯科医研修会 (三鷹)				
		三鷹産業プラザ			

【訃報】

港区芝 神田 原樹 (東京都立三田高等学校) H26. 5. 12逝去
 練馬 久保寺徳利 (練馬区立石神井台小学校) H26. 6. 10逝去
 葛飾 福田 徳治 (葛飾区立東金町中学校) H26. 7. 4逝去
 足立 岡部 一男 (足立区立花畑小学校) H27. 1. 20逝去
 板橋 神林 秀昭 (板橋区立若木小学校) H27. 3. 3逝去

上記の先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。(敬称略)